

# 三輪物語

神遊の名前の由来でもある  
名曲『三輪』を各流独特の小書  
にてご覧ください



## Kamiasobi Miwa Monogatari

今年度の本公演は、私たち神遊の命名由来の基となる曲「三輪」を、前々回の七夕能に引き続き金春流、喜多流、観世流のシテ方の先輩方に、それぞれの流儀の大切な小書(特殊演出)で演じて頂きます。稽古し、先輩の胸をお借りして勉強させて頂きます。メンバー各々がこの大切な小書を後世に伝えていく良い機会であり、大切な役割だと感じています。

できれば三日共いらして頂き、三つの流儀の、それぞれに大切にされてきたものを見せて頂くのがこの大切なもの。

古くから神の住む聖なる山として崇められる大和の三輪山。秋の庵の玄賓僧都(げんびんそうぞく)(ワキ)は毎日現れる女(前シテ)の所望に衣を与える。里人(アイ)に知らせを受け、僧が三輪明神を尋ね行くと、神前杉の衣を見つけ、三輪明神(後シテ)が現れて天照大神の岩戸隠れを物語る。

かな神の舞い遊ぶ様を見せる小書だ。

あらすじ  
古くから神の住む聖なる山として崇められる大和の三輪山。秋の庵の玄賓僧都(げんびんそうぞく)(ワキ)は毎日現れる女(前シテ)の所望に衣を与える。里人(アイ)に知らせを受け、僧が三輪明神を尋ね行くと、神前杉の衣を見つけ、三輪明神(後シテ)が現れて天照大神の岩戸隠れを物語る。

解説 観世 喜正

解説 観世 喜正

解説 観世 喜正

### 喜多流の「神遊」

大和三輪山麓の僧、庵室を訪う女に衣与え、住居を問うと三輪の杉と言つて消える。里人から神木に衣がと聞き、僧が訪うと三輪明神が現れ、神婚説話を語る。

小書「神遊」は、喜多流のもので神道の秘事を採入れた。後シテの巫女に三輪の神が憑り移る、神懸りの神姿になると、即ち小面・喝食鬘に金風折鳥帽子、白地單狩衣を衣紋付に紺大口。常は作物の後ろから出るが、床几に掛けられ、「御影あらたに」で引き廻しを下し出る。クセは莢環に針を付ける型から舞い、神樂は短く「面白々と見ゆる」の後は破之舞、橋掛りで袖を被き面を隠す翁の型などあり、急調の囃子で舞台に戻り常闇の雲晴れる様を見せ、華やかな神の舞い遊ぶ様を見せる小書だ。

### 金春流の「三光」

本曲の小書には古来、神道関係の秘事を採入れたものが多く、観世流の「誓納」、金剛流の「神道」、喜多流の「神遊」などがそれで、金春流では「三光」。この小書は、現宗家信高師が復曲したもの。

後シテは増女面に金風折鳥帽子、單狩衣を衣紋に付ける、位の高い付け方だ。神樂の途中で、イロエ風の笛に変わると、シテ御幣を上げるようにして空を見上げる、即ち月・星・日の三光を挙げる心だ。

ワキの出は特殊演奏の音取・置鼓となり、前シテは次第三遍返しで、常の唐織流を壱折姿にし、後シテも喝食鬘に白狩衣衣紋付で幣付袖を手に出る。地上歌「唯祝子が著する」と「神体」の二字に替え御神体を強調。又常の神樂をイロエを静かに舞い、「神樂を奏し」と緩急に富んだ神樂を橋掛りでも舞い、「翁ノ型」等あり岩戸隠れを真似て作物に入り「雲晴れ」と幕へ消えるとワキ留になる。

### 観世流の「白式神神楽」

最高の白色一式の装束にして神の威厳を示す小書。これは流儀では、一子相伝の秘曲とされた小書「誓納」と、殆ど変わるところがない。かつて御所の能を受け持っていた弟子家である京都の片山家に「誓納」を許す代わりに出来たものと言わっている。

ワキの出は特殊演奏の音取・置鼓となり、前シテは次第三遍返しで、常の唐織流を壱折姿にし、後シテも喝食

### 第12回公演・喜多流

9月22日[金] 午後6:30始

**狂言 犬山伏 Inuyamatashi**

シテ／山伏	三宅 右近
アド／僧	高澤 祐介
アド／茶屋	河路 雅義
アド／大	前田 晃一

**能 三輪 Miwa**

前シテ／女	友枝 昭世
後シテ／三輪明神	友枝 雄人
ワキ／玄賓僧都	栗谷 明生
アイ／里人	内田 安信
笛 小鼓	中村 邦生
太鼓 大鼓	柿原 弘和
觀世	元伯

### 第13回公演・金春流

11月23日[祝] 午後2:00始

**狂言 寝音曲 Neonezoku**

シテ／太郎冠者	野村 萬斎
アド／主人	野村万之介
アド／女	金春 安明
アド／大	本田 光洋

**能 三輪 Miwa**

前シテ／女	金春 安明
後シテ／三輪明神	山井 綱雄
ワキ／玄賓僧都	山井 貴覚
アイ／里人	横山 紳一
笛 小鼓	金春 憲和
太鼓 大鼓	辻井 八郎
觀世	元伯

### 第14回公演・観世流

12月19日[火] 午後6:30始

**狂言 蚊相撲 Kazumori**

シテ／大名	山本東次郎
アド／太郎冠者	山本 則重
アド／女	鈴木 啓吾
アド／大	坂口 貴信

**能 三輪 Miwa**

前シテ／女	梅若 六郎
後シテ／三輪明神	角当 直隆
ワキ／玄賓僧都	馬野 正基
アイ／里人	山本東次郎
笛 小鼓	鈴木 啓吾
太鼓 大鼓	山中 貴博
觀世	元伯



平成12年

9月22日[金]・11月23日[祝]・12月19日[火] 於 宝生能楽堂

全指定席:正面8000円/脇正面6000円/中正面5000円

学生券3000円(脇正面席 数量限定/チケットぴあのみ取扱)

3回通しセット券(神遊のみ取扱)

正面20000円/脇正面15000円/中正面12000円

English Program Available

お申込: 神遊 03-5227-1830

チケットぴあの 03-5237-9988

お問い合わせ: 神遊事務局

kamiasob@wc4.so-net.ne.jp

03-5227-1830(電話・FAX共)

・JR線道橋駅(東口)

・都営地下鉄三田線

水道橋駅(A1出口)

東京都文京区本郷1-5-9

TEL.03-3811-4843(代)

